

## STEP 10 対象施設の景観配慮計画をとりまとめましょう

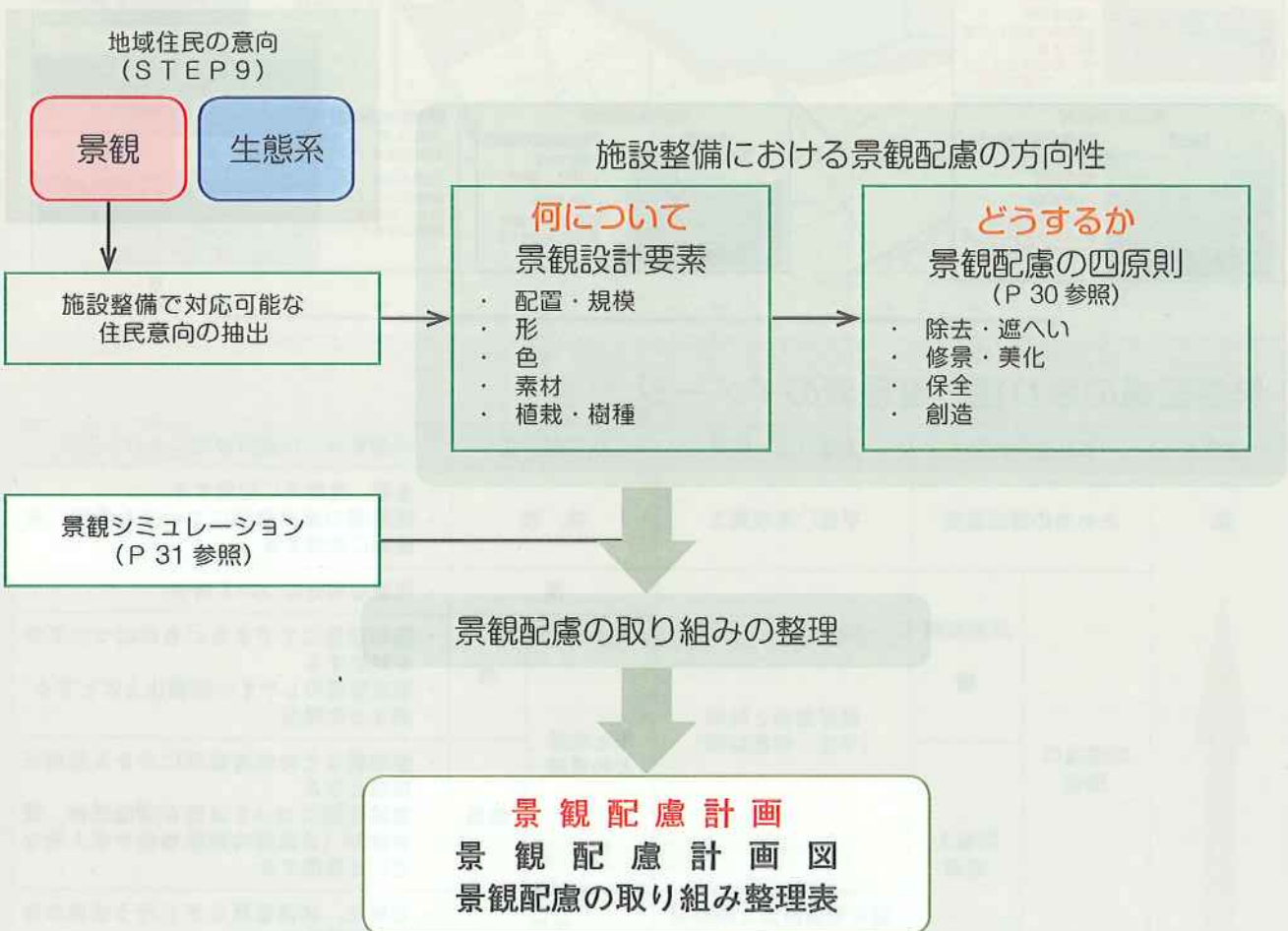
STEP 9を踏まえ、景観に関する意向のうち、施設整備において対応可能なものについて、施設整備や維持管理における具体的な景観配慮の取り組みをとりまとめます。

### 検討の流れ

STEP 9の景観に関する住民意向のうち、施設整備にて対応可能なものを抽出します。

次に、これらの抽出した住民意向について、整備のなかで具体的に、**何について**（景観設計要素）、**どうするか**（景観配慮の四原則：参照）を検討し、景観配慮の方向性として地図上に整理します（次頁：景観配慮計画図）。

さらに、それぞれの箇所の景観配慮の方向性について、住民との協議により、取り組みの内容を整理し、①取り組みの優先度、②取り組み時期、③取り組み主体（役割分担）、④整備および維持管理における要点などについて表にとりまとめます（次頁：景観配慮の取り組み整理表）。



### POINT：地域住民への情報提供

対象施設周辺の地域におけるデザインコードや景観特性のとりまとめ（STEP 8）、住民意向のとりまとめ（STEP 9）、対象施設の景観配慮計画のとりまとめ（STEP 10）は、当該地域における今後の景観づくりや維持管理のための貴重な資料となります。そのため、STEP 8、9、10の成果は、積極的に住民への情報提供を行いましょう。

## 景観配慮計画図のイメージ



## 景観配慮の取り組み整理表のイメージ

①優先度	取り組み内容	②取り組み時期	③役割分担	④整備および維持管理における要点
↑ 高	ため池の護岸整備	平成○年度着工	県、市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観、生態系に配慮する</li> <li>・ 堤防側の護岸整備についても景観、生態系に配慮する</li> </ul>
	周回道の整備	護岸整備と同時に (平成○年度以降)	県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可能な部分について対処</li> </ul>
			市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の整備にてできないものについて市が対処する</li> <li>・ 雑草管理のしやすい路面仕上げとする</li> <li>・ 橋などの整備</li> </ul>
			住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理費などの維持管理にかかる費用が課題となる</li> <li>・ 維持管理については既存活動団体、既存体制（公民館の掃除当番や老人会など）を活用する</li> </ul>
	護岸整備着工と同時期 を目的に内容を検討	住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花植え、維持管理などを行う住民の体制を構築する</li> </ul>	
	堤防への アクセス階段の整備	周回道の整備と 同時	市と住民 との連携	市
墓地の植栽など	全体の整備と平行して 取り組みを検討	住民	住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 維持管理などを行う地域住民の体制を構築する</li> </ul>
低	公民館周辺	全体の整備と平行して 取り組みを検討	住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館利用の際に、不便な点を改善する（街灯の設置など）</li> </ul>

## 景観配慮の四原則

景観配慮を行う際の基本的な考え方として、四つの原則があり、整備対象施設について、これら四原則の考え方に基づいて具体的な景観配慮方針を検討します。

ここで解説する景観配慮の四原則の考え方は、STEP 5、10にて活用されています。

除去・遮へい	景観の質を低下させる要素（景観阻害要因）を取り除くこと。
修景・美化	景観阻害を軽減または美化要素を付加し景観のレベルを上げること。
保全	調和のとれた状態を保全し、管理すること。
創造	新たな要素を付加することで、新しい景観秩序を創り出すこと。

### 除去 農道沿いの廃屋を除去（北海道美幌町）



沿道に立地する使われなくなった農業用倉庫や畜舎等の色彩（青色や赤色）が、樹木の緑に統一された色彩を阻害して雑然とした印象になっています。

右側の写真のように、これらの利用されていない施設を景観から除去し、景観の質を改善しました。

### 遮へい 集落内のコンクリート法面をマスキング（遮へい・隠す）（長野県塩尻市）



塩尻市では、コンクリート擁壁が集落景観の質を低下させないように、集落道を歩く人の視線が及ぶ範囲についてコンクリートの露出部分を木柵により遮へい（マスキング）しています。

木柵は、集落のデザインコードを踏まえた形、色彩、素材のものを導入し、また基礎部分は自然石張りの土台とすることにより、「遮へい」とともに「修景・美化」も同時に行っています。

### 修景・美化 排水処理施設における修景・美化（山形県飯豊町、長野県穂高町）



飯豊町では屋敷林が多いことから、集落排水処理施設建設にあたり、既存緑地に隣接した場所を選定し、施設が単体で立地することによる景観阻害を軽減しました。さらに、地域の伝統的な農家のデザインコードを活用し、周辺との調和を図っています（写真左）。

穂高町の事例では、用水路の改修にあたり、神社の石積みに合わせて側壁に石積みを採用し、神社と調和した景観を形成しています（写真右）。

### 保全 棚田景観に配慮した農道改修（熊本県熊本市）



熊本市では、棚田の道路改修にあたり、道路側壁部分について、改修前の石積み工法を踏襲した施工を行いました。時間経過に伴うエイジングによって周辺の石積みと同様の色合いに落ち着き、将来的な地域景観の保全を意図しています。

### 創造 公園における駐車場の整備（沖縄県那覇市）



駐車場に芝ブロックを施すことにより、周辺景観の緑地との融合が図られています。

## 景観シミュレーション

施設における景観配慮の方向性を定めた後、具体的な整備手法や配慮の程度を検討するために景観シミュレーションを活用します。

ここでは、景観配慮の方向性に基づいたシミュレーションによる検討を例示します。

**写真上**は、「ため池の護岸整備を石積みにより行う」といった方針に基づき、具体的な石積みの様子をシミュレーションしたものです。**写真下**は、「ほ場内の廃車置場の修景を図る」といった方針のもと植栽による修景を検討したものです。



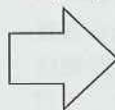
### MEMO：シミュレーション技術を活用した「除去」効果の視覚化

施設全体の景観配慮のイメージや景観配慮方針を検討する際に、シミュレーション技術を活用することもあります。

「除去」は、四原則のなかでも最も確実に周辺景観への良好な効果が期待できるものであるため、このようなシミュレーション技術を積極的に応用することが望ましいです。



電柱、電線の除去



農村における  
景観配慮の実務マニュアル  
—景観に配慮した  
整備のための10のステップ—  
2008年3月発行

監修

LSAG中央委員会

委員長 藤本 信義  
宇都宮大学名誉教授

委員 勝野 武彦  
日本大学大学院  
生物資源科学研究科 教授

山路 永司  
東京大学大学院  
新領域創成科学研究科 教授

山本 徳司  
独立行政法人  
農業・食品産業技術総合研究機構  
農村工学研究所  
景域整備研究室 室長

企画・発行

農林水産省農村振興局整備部  
地域整備課

編集・制作

社団法人 農村環境整備センター

〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町11-8

フジスタービル2階

TEL 03-5645-3671

FAX 03-5645-3675

写真提供

藤本 信義

